



繪入 割續

和歌抄

上



親善淨和法抄序

文殊法蓮花經の三世法公出世の年憶まはる
み寸餘年此極健なり如法がゆへに公の
とちり法公中主宮者才一と申おもはし
おの二平八おの骨體はあお此咽喉なりある
乃爾乃疾まへたるにのりく具山より
四句の文とありてそとて文中成たさあ玉を多と
てり慈帝やまは田乃二句とくく不む不死
乃仙人とわらほふあれと教祖といひまを



三身よきくらくては難く利極く冥路に在りたる
 かぞふはよりの海の水のひの目あるを若も
 と念よく眼同き河を多る若ももごとく
 健たると相楸加深乃飛にのほもたふら
 のひの火鬼龍よの人も大坑変とと港と
 打つ波浪よとにわごやあう一母も中河さ
 妙智力乃くく廣大なるゆこなり海とかなう
 慈眼視危生後毒海を帯乃金文わひと
 んく作しともみわすらわ海ものなり

妙法蓮華經觀世音菩薩普門品第二十五

三身よきくらくては難く利極く冥路に在りたる
 かぞふはよりの海の水のひの目あるを若も
 と念よく眼同き河を多る若ももごとく
 健たると相楸加深乃飛にのほもたふら
 のひの火鬼龍よの人も大坑変とと港と
 打つ波浪よとにわごやあう一母も中河さ
 妙智力乃くく廣大なるゆこなり海とかなう
 慈眼視危生後毒海を帯乃金文わひと
 んく作しともみわすらわ海ものなり

作是言

今持ふ所の法を修めりて成に成られし妙法也といふ
と云はれし今此の法を修めりて成に成られし妙法也といふ
九 空盡意
かくらゝる東方不暎世界に教と著眼すまらいの補承なりと云はれし
十 海祖右肩と云はれし
と云はれし
と云はれし
と云はれし
と云はれし
と云はれし
と云はれし

三十一
世尊觀世音菩薩以何因縁名觀世音

いんがくもといふなり
三十一
と云はれし
と云はれし
と云はれし
と云はれし
と云はれし
と云はれし
と云はれし

三十二
佛告無量壽菩薩善男子若有無量百千

萬億衆生
三十二
と云はれし
と云はれし
と云はれし
と云はれし
と云はれし
と云はれし
と云はれし

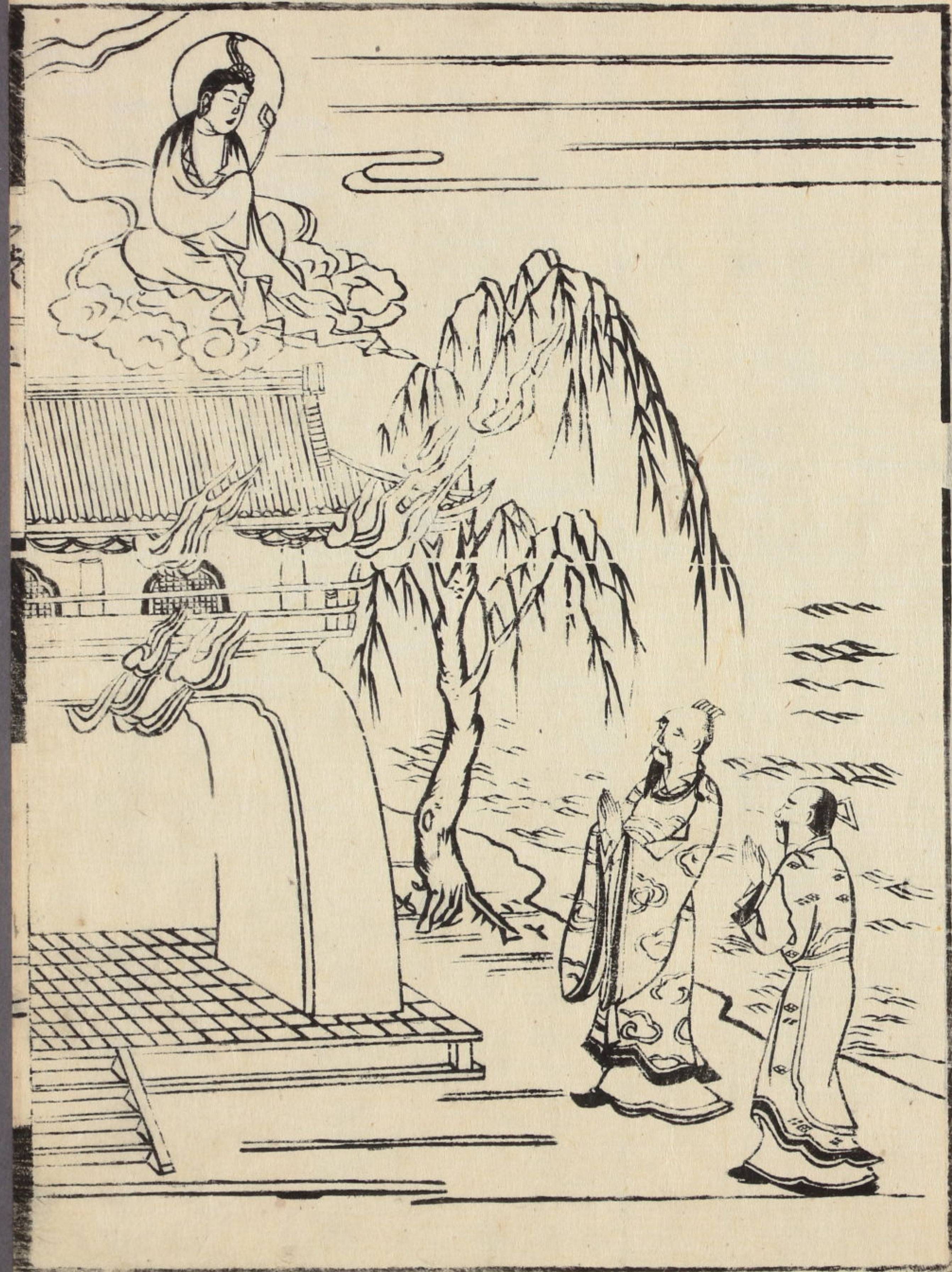
受諸苦惱

と云はれし
と云はれし
と云はれし
と云はれし
と云はれし
と云はれし
と云はれし

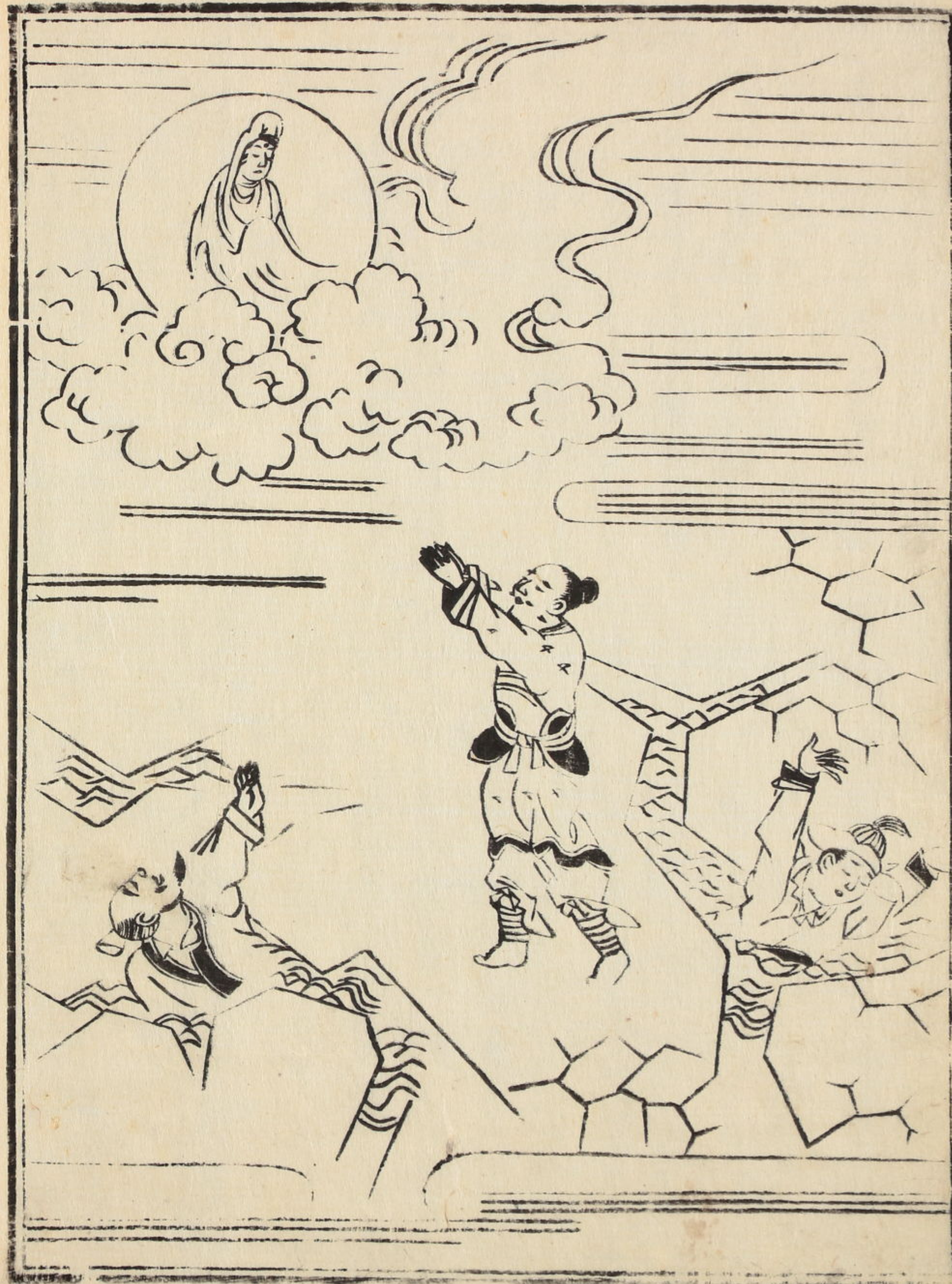
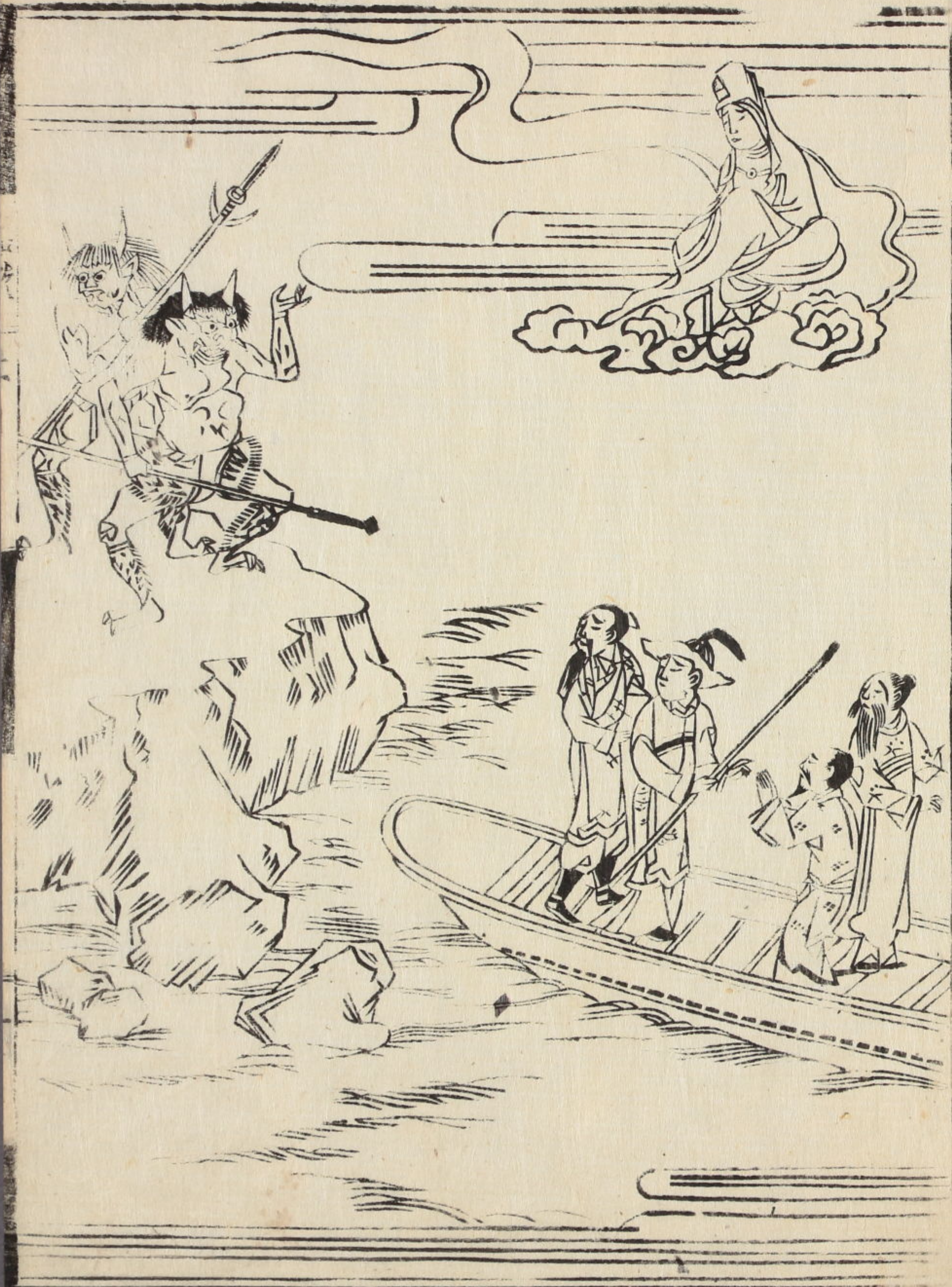
三十三
聞是觀世音菩薩一心稱名觀世音菩薩即時觀其

音聲皆得解脫

三十三
と云はれし
と云はれし
と云はれし
と云はれし
と云はれし
と云はれし
と云はれし

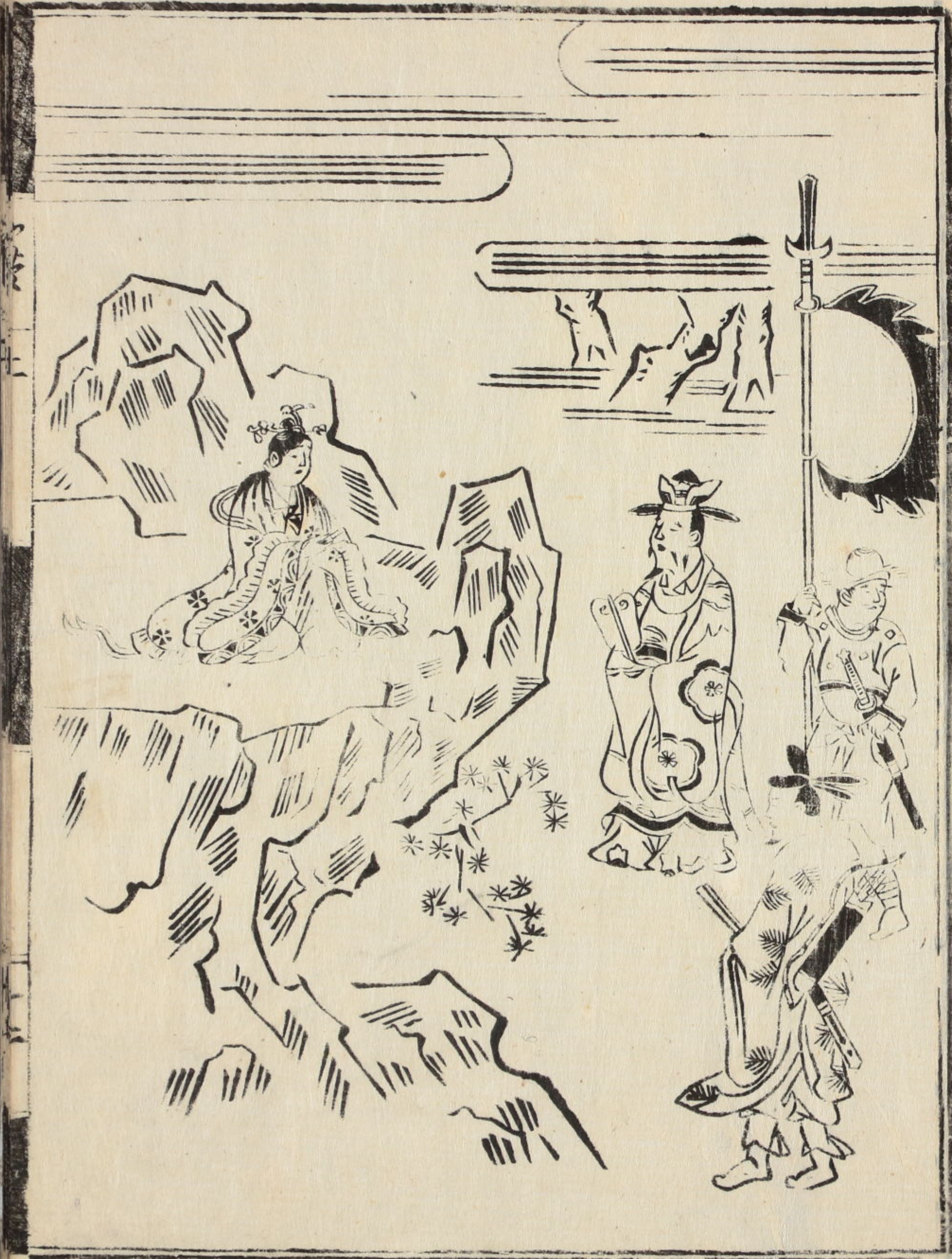


釈迦
上

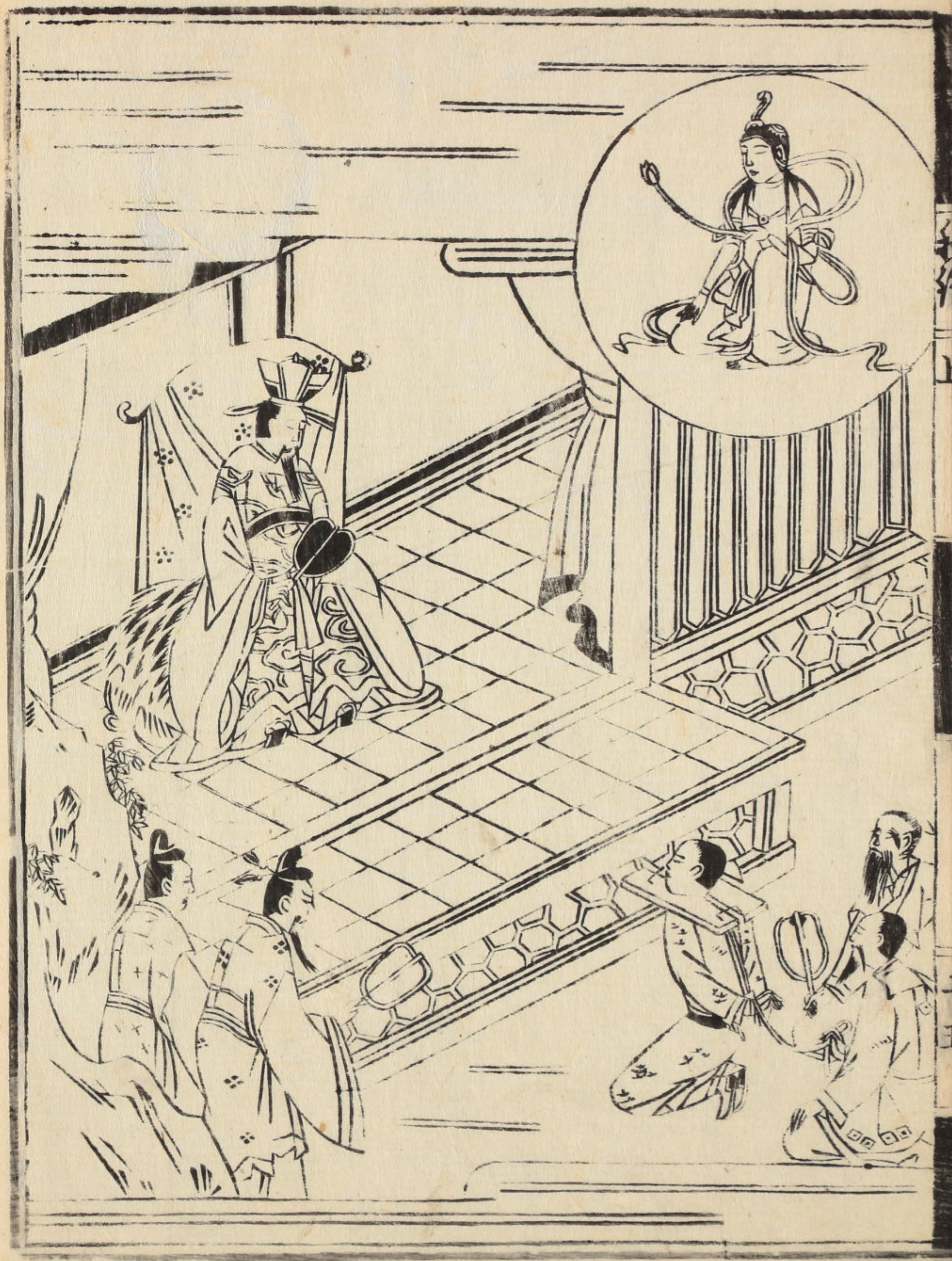
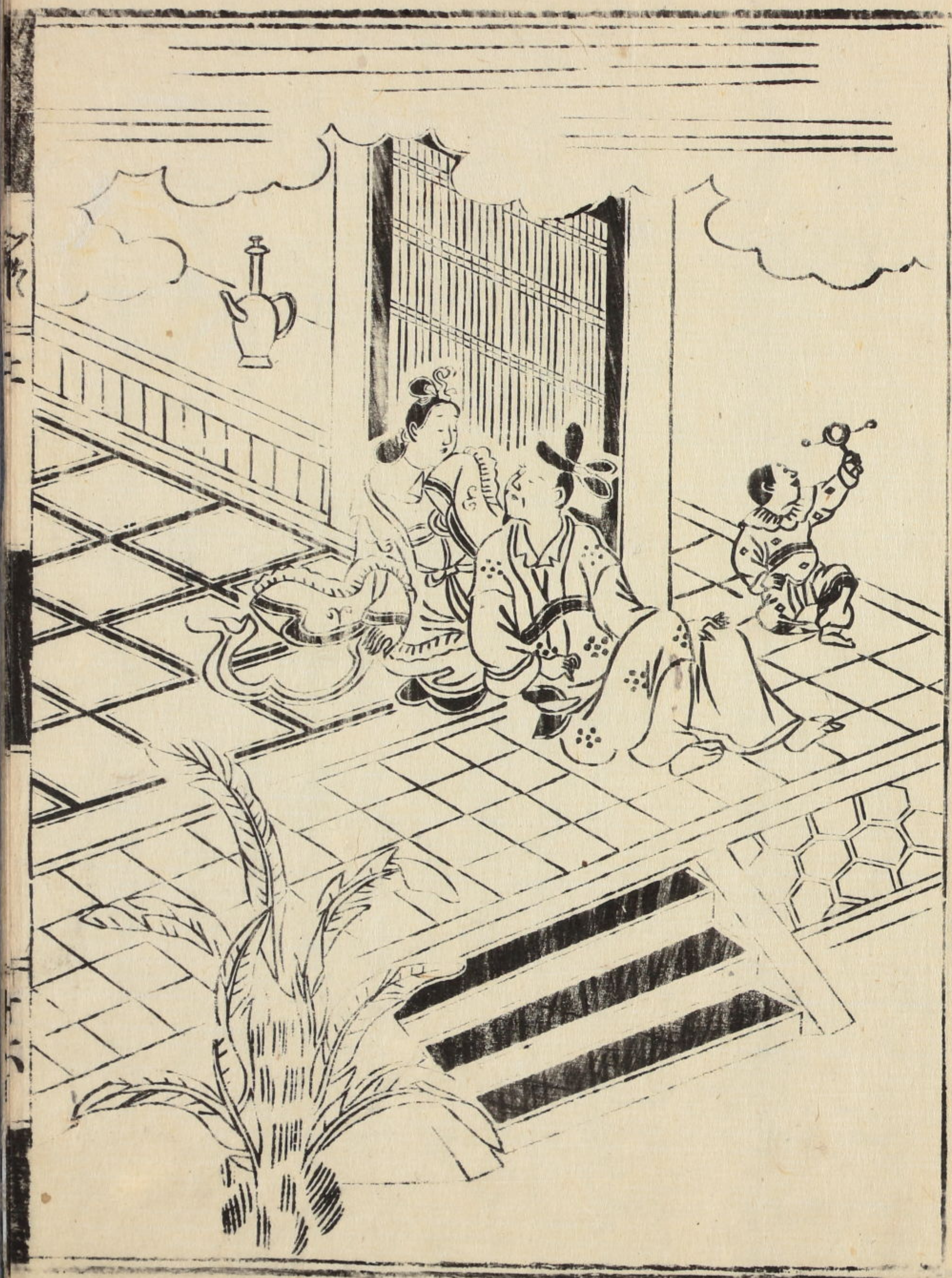


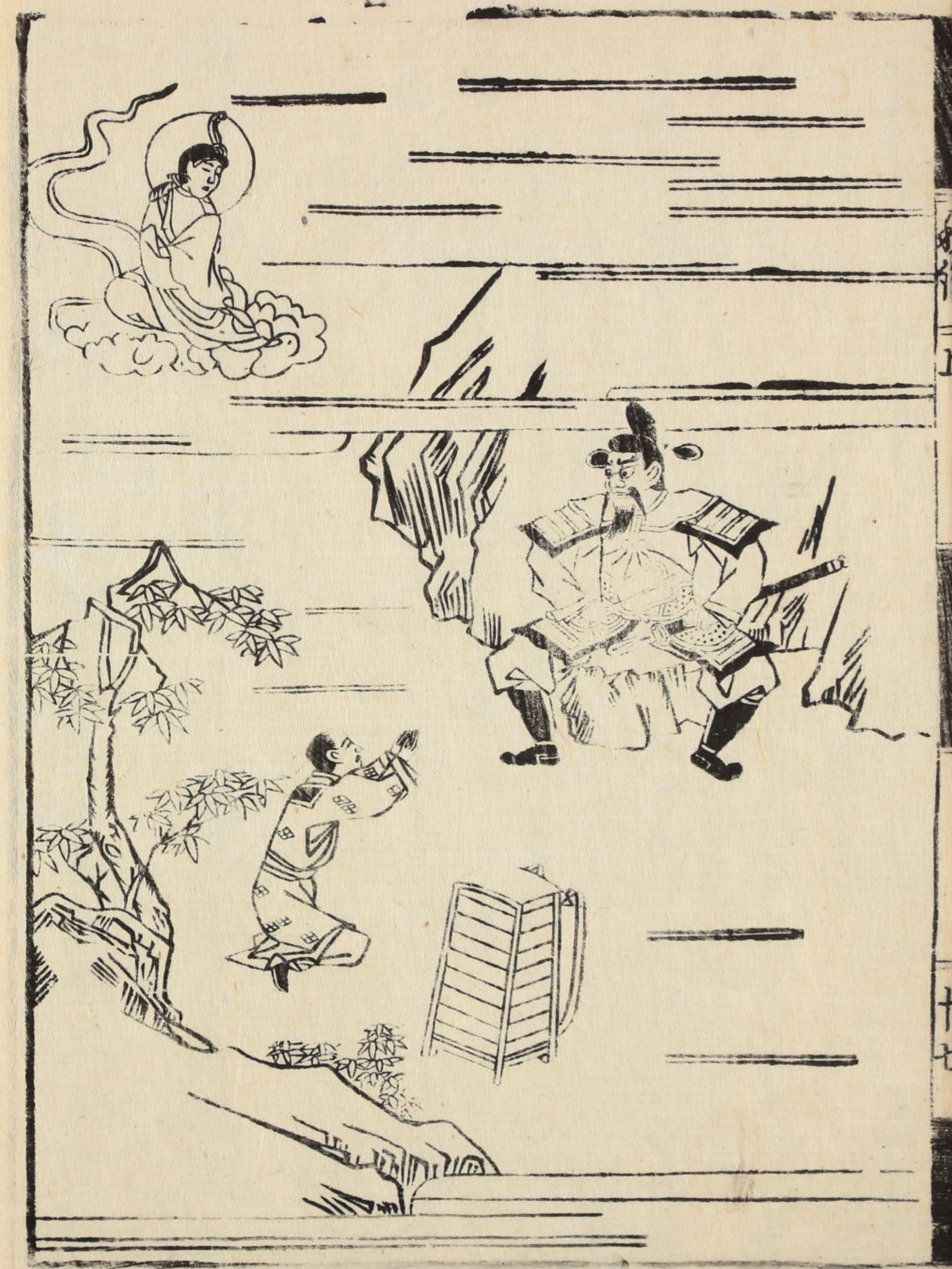
和
字
上

九









またその持たざるゆゑにえんはわたりて執るはわりのなきなりはたはたしうと
あるればおぼしきなりとの法縁をひらきてはたはたしうとあるればたはたしうと
えんはたはたしうとあるればたはたしうとあるればたはたしうとあるればたはたしうと
ゆゑのちんねんよと四八三を執るればたはたしうとあるればたはたしうとあるればたはたしうと
よとあるれば執るよと念ふはつらうのちんねんよとあるればたはたしうとあるればたはたしうと
よとあるればたはたしうとあるればたはたしうとあるればたはたしうとあるればたはたしうと
あつたよと念ふはつらうのちんねんよとあるればたはたしうとあるればたはたしうと
わすれがたはたしうとあるればたはたしうとあるればたはたしうとあるればたはたしうと
んちんねんよとあるればたはたしうとあるればたはたしうとあるればたはたしうと

無盡意觀世音菩薩摩訶薩威神之力巍巍如是

ひんてねんよとあるればたはたしうとあるればたはたしうとあるればたはたしうと
たはたしうとあるればたはたしうとあるればたはたしうとあるればたはたしうと
たはたしうとあるればたはたしうとあるればたはたしうとあるればたはたしうと
たはたしうとあるればたはたしうとあるればたはたしうとあるればたはたしうと
たはたしうとあるればたはたしうとあるればたはたしうとあるればたはたしうと
たはたしうとあるればたはたしうとあるればたはたしうとあるればたはたしうと
たはたしうとあるればたはたしうとあるればたはたしうとあるればたはたしうと
たはたしうとあるればたはたしうとあるればたはたしうとあるればたはたしうと
たはたしうとあるればたはたしうとあるればたはたしうとあるればたはたしうと
たはたしうとあるればたはたしうとあるればたはたしうとあるればたはたしうと

上終

